

④沖縄西海岸道路（浦添北道路）	延長=2.0km	平成 26 年度再評価
-----------------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 58 号の宜野湾市から浦添市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス強化による物流機能の向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県宜野湾市宇地泊～浦添市港川



図 事業概要図

2) 進捗状況



図 事業進捗状況

### 3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 26 年度		
単純合計	288 億円	20 億円	308 億円
うち残事業分	55 億円	20 億円	75 億円
基準年における 現在価値	297 億円	7.5 億円	304 億円
うち残事業分	52 億円	7.5 億円	60 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 26 年度			
単年便益	33 億円	3.8 億円	1.4 億円	38 億円
基準年における 現在価値	629 億円	75 億円	27 億円	731 億円
うち残事業分	629 億円	75 億円	27 億円	731 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	2.4	426 億円	9.2%
残事業	12.3	671 億円	40.0%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化 (平成 42 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [浦添北道路 : 2.0 km]	交通量	[台/日]	—	27,000	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.1	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	19.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 : 4.4km	交通量	[台/日]	84,700	70,000	-14,700	0.83
		走行時間	[分]	7.1	5.8	-1.3	0.85
		走行時間費用	[億円/年]	106.0	72.0	-34.0	0.68
	国道 330 号 : 2.7 km	交通量	[台/日]	67,900	63,600	-4,300	0.94
		走行時間	[分]	5.4	5.1	-0.3	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	64.0	56.0	-8.0	0.88
	(県) 153 号 : 1.5km	交通量	[台/日]	55,300	52,800	-2,500	0.95
		走行時間	[分]	5.3	5.1	-0.2	0.96
		走行時間費用	[億円/年]	52.0	47.0	-5.0	0.90



図 主な周辺道路の位置

⑤那覇北道路	延長=2.2km	平成 26 年度新規採択
--------	----------	--------------

1) 事業概要

本道路は、那覇都市圏の環状道路を形成し、一般国道58号の那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上による物流の効率化、観光振興を支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭

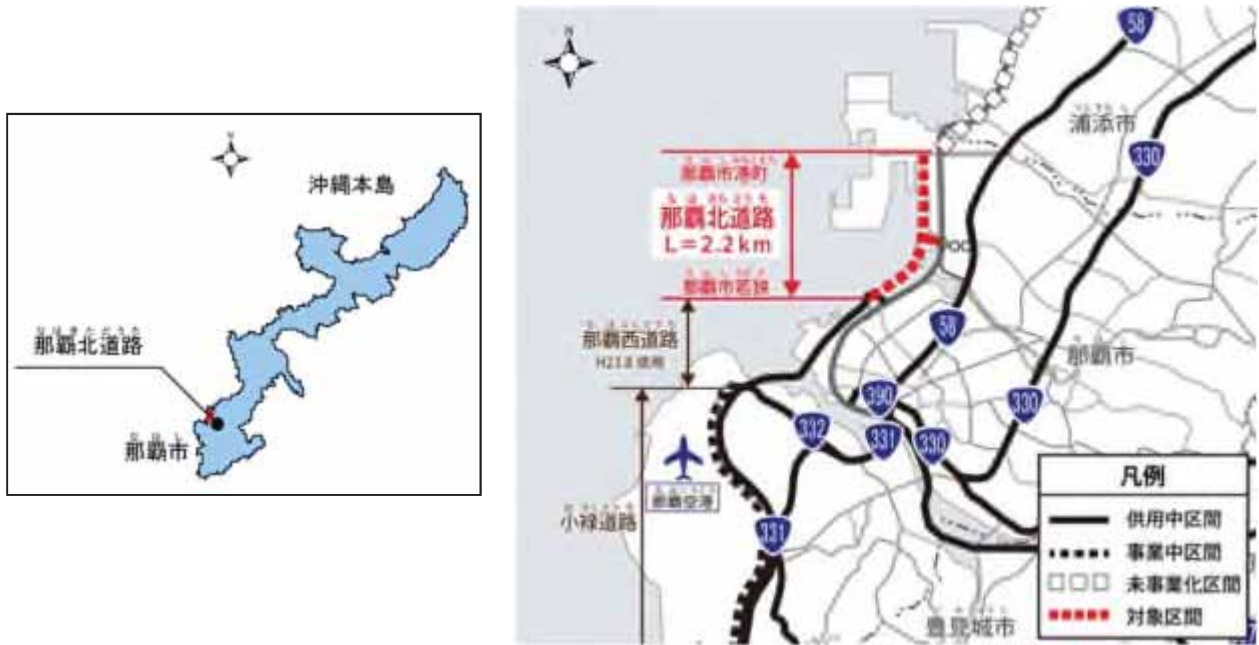


図 事業概要図

2) 進捗状況

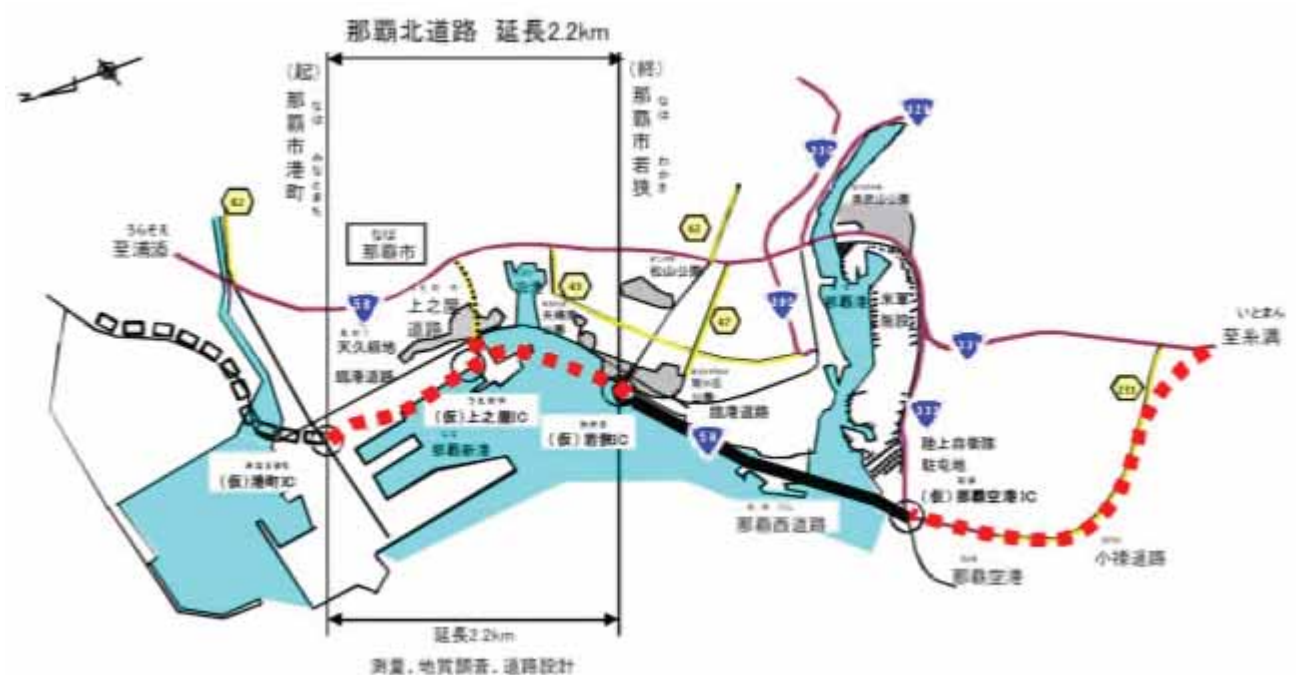


図 事業進捗状況

3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	699 億円	42 億円	742 億円
基準年における 現在価値	529 億円	12 億円	541 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	61 億円	11 億円	6.4 億円	79 億円
基準年における 現在価値	857 億円	157 億円	89 億円	1,104 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体	2.0	563 億円	8.5%

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B) - (A)	比率 (B) / (A)	
①新設・改築道路 [那覇北道路：2.2 km]	交通量	[台/日]	—	42,100	—	—	
	走行時間	[分]	—	2.2	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	16.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 ： 4.7km	交通量	[台/日]	65,500	54,300	-11,200	0.83
		走行時間	[分]	10.0	8.8	-1.2	0.88
		走行時間費用	[億円/年]	118.0	85.0	-33.0	0.72
	現道（臨港 道路 1 号線） ： 2.5km	交通量	[台/日]	41,300	16,300	-25,000	0.39
		走行時間	[分]	6.6	4.0	-2.6	0.61
		走行時間費用	[億円/年]	49.0	12.0	-37.0	0.24
	国道 331 号 ： 0.4km	交通量	[台/日]	36,400	28,300	-8,100	0.78
		走行時間	[分]	0.64	0.60	-0.04	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	4.0	2.9	-1.1	0.73
	国道 330 号 ： 2.0km	交通量	[台/日]	46,800	44,500	-2,300	0.95
		走行時間	[分]	5.3	5.0	-0.3	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	42.0	38.0	-4.0	0.90



図 主な周辺道路の位置

⑥豊見城道路	延長=4.0km	平成 25 年度再評価
--------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道331号の豊見城市周辺部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス強化による物流機能の向上、周辺観光施設へのアクセス向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県豊見城市瀬長～糸満市西崎

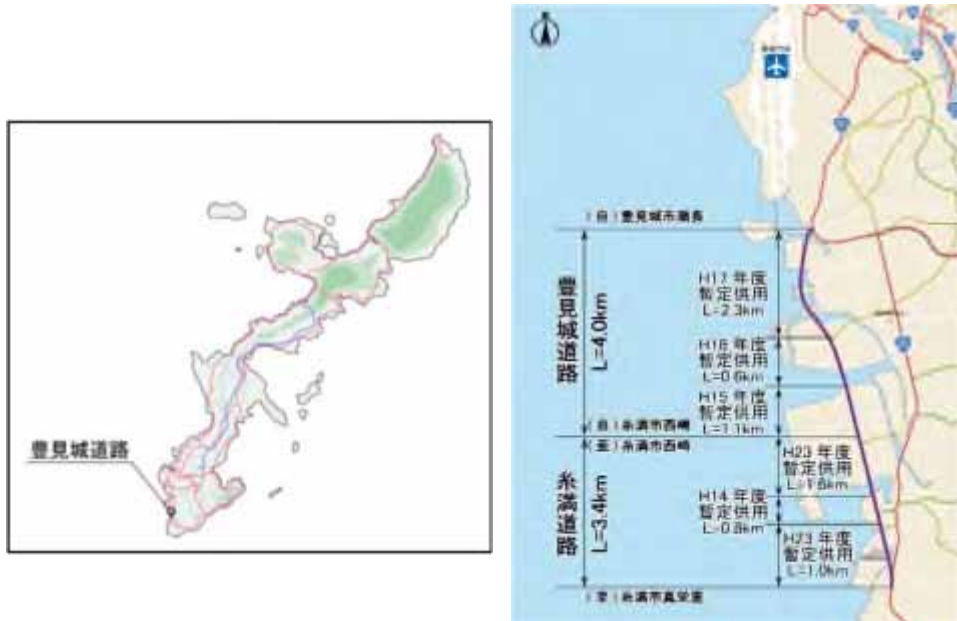


図 事業概要図

2) 進捗状況



図 事業進捗状況

3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	388 億円	71 億円	459 億円
うち残事業分	28 億円	44 億円	71 億円
基準年における 現在価値	470 億円	42 億円	512 億円
うち残事業分	26 億円	17 億円	44 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	0.64 億円	0.06 億円	0.05 億円	0.75 億円
基準年における 現在価値	1,538 億円	237 億円	92 億円	1,867 億円
うち残事業分	290 億円	38 億円	24 億円	352 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	3.6	1,355 億円	14.5%
残事業	8.1	308 億円	48.4%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。



4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化 (平成 42 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [豊見城道路 : 4.0 km]	交通量	[台/日]	—	36,900	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.6	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	30.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	現道 (国道 331号) : 5.2km	交通量	[台/日]	35,700	18,600	-17,100	0.52
		走行時間	[分]	11.0	8.2	-2.8	0.75
		走行時間費用	[億円/年]	77.0	27.0	-50.0	0.35
	(主) 那覇 糸満線 : 1.7 km	交通量	[台/日]	26,000	19,100	-6,900	0.73
		走行時間	[分]	2.3	2.2	-0.1	0.96
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	7.2	-2.8	0.65
	(県) 東風 平豊見城線 : 2.5km	交通量	[台/日]	26,600	21,400	-5,200	0.80
		走行時間	[分]	3.8	3.5	-0.3	0.92
		走行時間費用	[億円/年]	18.0	13.0	-5.0	0.72



図 主な周辺道路の位置

⑦糸満道路	延長=3.4km	平成 25 年度再評価
-------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道331号の糸満市周辺部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇空港・那覇港へのアクセス強化による物流機能の向上、周辺観光施設へのアクセス向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県糸満市西崎～糸満市真栄里

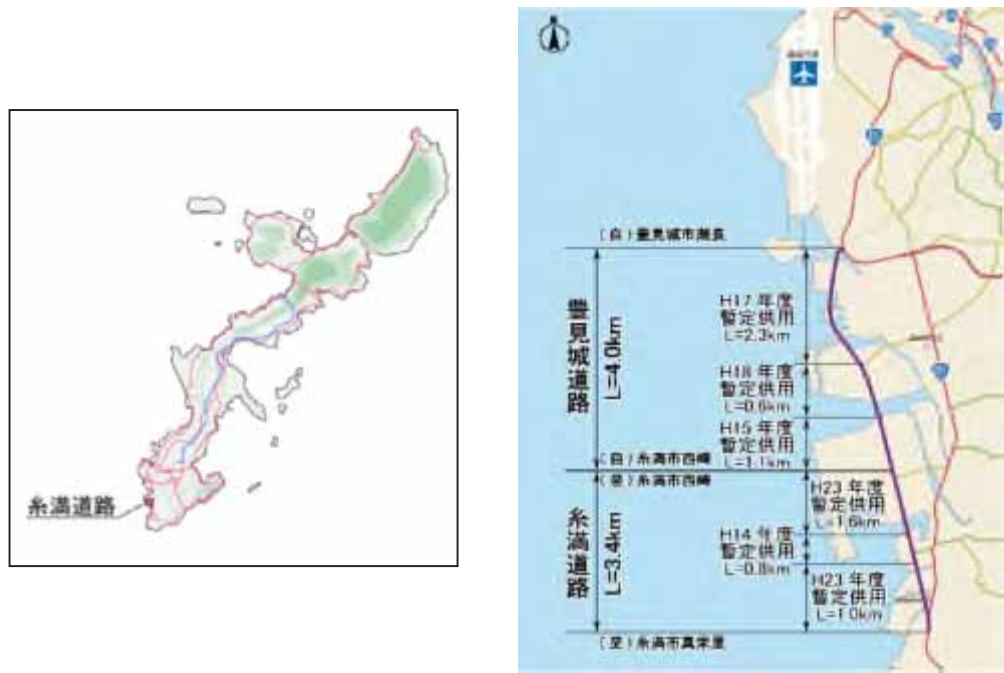


図 事業概要図

2) 進捗状況



図 事業進捗状況

### 3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	488 億円	67 億円	555 億円
うち残事業分	64 億円	37 億円	100 億円
基準年における 現在価値	587 億円	31 億円	617 億円
うち残事業分	58 億円	14 億円	72 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 25 年度			
単年便益	29 億円	1.7 億円	0.15 億円	31 億円
基準年における 現在価値	776 億円	111 億円	58 億円	946 億円
うち残事業分	177 億円	16 億円	11 億円	205 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	1.5	329 億円	6.0%
残事業	2.8	133 億円	12.9%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [糸満道路：3.4km]	交通量	[台/日]	—	21,900	—	—	
	走行時間	[分]	—	3.6	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	14.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	現道（国道 331号） ：2.7km	交通量	[台/日]	21,800	7,300	-14,500	0.33
		走行時間	[分]	9.3	5.1	-4.2	0.55
		走行時間費用	[億円/年]	34.0	6.7	-27.3	0.20
	（主）奥武 山米須線 ：5.3km	交通量	[台/日]	6,900	4,600	-2,300	0.67
		走行時間	[分]	12.0	10.0	-2.0	0.83
		走行時間費用	[億円/年]	17.0	11.0	-6.0	0.65
	（県）15号 ：4.1km	交通量	[台/日]	600	100	-500	0.17
		走行時間	[分]	6.4	6.2	-0.2	0.97
		走行時間費用	[億円/年]	0.65	0.09	-0.56	0.14



図 主な周辺道路の位置